

■開幕2カ月前日本館プレス発表会を実施！

ミラノ万博開幕まで2カ月を切った3月5日、飯野ビルディング（東京都千代田区）において「2015年ミラノ国際博覧会開幕2カ月前 日本館プレス発表会」を行いました。

オープニングでは、主催者を代表し、長谷部正道 農林水産省 大臣官房審議官（研究・連携担当）、佐々木良 経済産業省 大臣官房審議官（商務流通・国際博覧会担当）、石毛博行 日本貿易振興機構（ジェトロ）理事長より、日本館出展への意気込みやメッセージ等を伝えました。

続いて、展示内容の詳細について映像とともにご紹介し、クリエイターの1人である猪子寿之 チームラボ代表より、自身が手がけたScene I *HARMONY*、Scene II *Diversity*に込めた想いを語っていただきました。

さらに、日本のナショナルデー（※）である「ジャパンデー」について、開催日（2015年7月11日）と文化公演の出演者を発表しました。能楽の宝生流第二十世宗家 宝生和英（ほうしょう かずふさ）さんのほか、和太鼓の演舞を披露する打打打団・天鼓（だだだん・てんこ）のお二人が登壇し、意気込みを語りました。

※ナショナルデー：各参加国の参加を称え、公式式典や催事が行われる日。万博会期中、各参加国に1日割り当てられる。



猪子寿之 チームラボ代表



宝生流第二十世宗家 宝生和英さん

打打打団・天鼓のお二人

また、当日の出席は叶いませんでしたが、同じく文化公演での出演が決まっているきゃりーぱみゅぱみゅさん、紫舟さん、吉田兄弟のお二人からもビデオメッセージを頂きました。イベント広場のパートでは、参加者を代表して、JAグループよりキャラクターの笑味(えみ)ちゃんが登場。日本館より日本館旗の贈呈が行われました。このほか、加藤辰也 ミラノ万博日本政府代表よりフードコートのメニューをご紹介したほか、日本館アテンダントのユニフォームが発表されました。会の最後を飾ったのは、欧州でも人気の日本発キャラクター「ハローキティ」の日本館特別大使への就任でした。当日は、50を超えるメディアに、会場は立ち見がでるほどの盛況で、ミラノ万博・日本館に多くの方の注目が集まってきたことが感じられる会となりました。

□開幕2カ月前日本館プレスリリースは次のURLよりご覧いただけます。< http://www.expo2015.jp/news/20150305_01.html >

□日本館紹介映像は次のURL（ページ最下方）よりご覧いただけます。 <<http://www.expo2015.jp/about/exhibition/>>



きゃりーぱみゅぱみゅさん（ビデオメッセージ）



加藤辰也 日本政府代表

笑味ちゃん



アテンダントユニフォーム

・イタリアでも大人気の「ハローキティ」、日本館特別大使に就任

このたび、日本発のキャラクターとして、イタリアを含む欧州での認知度が高く、国内外で多くのファンを持つ「ハローキティ」が日本館特別大使に就任しました。今後、日本館が行う様々なイベントに出演し、日本館のPRをしていただきます。3月5日のプレス発表会では、日本人女性として唯一ミラノコレクションに公式参加している、ファッションデザイナーの荻野いづみさんのブランド「アンテプリマ」特製の衣装を着用。万博会期中は、着物スタイルでの出演も予定されています。



■イタリア大使館との共催による「ミラノ万博キックオフパーティー」を開催

プレス発表会が行なわれた3月5日同日、駐日イタリア共和国大使館とミラノ万博日本館の共催による「ミラノ万博キックオフパーティー」がイタリア大使公邸において開催されました。オープニングでは、マウリツィオ・マルティーナ イタリア農業政策大臣による祝辞に続き、林芳正 農林水産大臣、山際大志郎 経済産業副大臣よりご挨拶を頂きました。乾杯にあたっては、安倍昭恵 内閣総理大臣夫人が音頭を取られ、日伊双方の関係者がミラノ万博開幕に向けて士気を高めました。なお、日本館サポーターからも多数の皆様にご参加いただきました。

＜キックオフパーティーの様子＞



林芳正 農林水産大臣



山際大志郎 経済産業副大臣

■ミラノ万博をテーマとするシンポジウム、東京大学で開催

プレス発表会前日の3月4日には、ミラノ万博をテーマとするシンポジウム「地方そしてグローバルな視点からの食、健康、持続可能な農業発展」が、東京大学農学部で開催されました。東京大学とイタリア大使館が主催する本シンポジウムでは、日伊の有識者が食に関し、両国の伝統と展望について議論を交わしました。

冒頭の基調講演では、マウリツィオ・マルティーナ イタリア農業政策大臣が「ミラノ万博は食について国際的に議論する重要な場である。日本館の働きに感謝する」と述べられました。続いてあべ俊子 農林水産副大臣からは、ミラノ万博での日本産食品の持込みに関する特例措置について、イタリア政府に対する謝意が示されました。パネルディスカッションでは、日本館サポーターの服部幸應さんが、食育の視点から「味」「機能」の重要性について述べられました。閉会の挨拶として、針原寿朗 農林水産審議官より、イタリアと日本が食の二大大国であること、全力を挙げて万博に取り組む日本の姿勢について述べられました。



安倍昭恵 総理夫人による乾杯

＜シンポジウムの様子＞



マウリツィオ・マルティーナ
農業政策大臣



パネルディスカッション

■ミラノ万博関連ニュース

・ミラノ万博のシンボル「生命の樹」 (Tree of Life) が登場！

ミラノ万博のシンボル「生命の樹」(“Tree of Life”/イタリア語名“Albero della Vita”)が万博会場に設置されました。37メートルのこの建築物は、万博会場を南北に延びる通り「カルド」の端、イタリア館の前に位置するレイクアリーナの湖面にそびえ立ちます。デザインはマルコ・バリッチ氏によるものです。生命の樹は、万博会期中の会場の目印となり、待ち合わせ場所や来場者の憩いの場となります。



・万博デザインでペイントされた、イタリアの高速鉄道列車がお目見え

3月6日、イタリアの高速鉄道、フレッチャロッサ (Frecciarossa) としては初となるミラノ万博デザインのペイントを施された列車が登場しました。記者会見には、ジュゼッペ・サーラミラノ万博公社代表をはじめ、多数の官民の鉄道・運輸関係者が出席しました。記者会見の後、出席者たちは初めての乗客として、ミラノ中央駅から、今回新たに名付けられた「ローフィエラ ミラノ万博駅 (Rho Fiera Expo Milano 2015)」まで乗車しました。



・「Expo Worldrecipes」携帯用アプリを公開

ブロッガーやシェフの協力により作られるオンラインの料理本「Expo Worldrecipes」のスマートフォン用アプリが登場しました。ミラノ万博のインタラクティブな取り組みの一つで、優れたレシピとともに、食にまつわる世界の伝統なども紹介されています。「Expo Worldrecipes」にアクセスすると、それぞれのレシピの材料の栄養価や、環境への影響等についての情報が提供されるようになっており、ミラノ万博のテーマ「地球に食料を、生命にエネルギーを」とのつながりが強められる仕組みとなっています。

□Expo Worldrecipesは次のURLよりご覧いただけます。(英語のみ)

<<http://www.expo2015.org/en/news/expo-world-recipes--now-available-via-an-app>>



※本通信に掲載の記事・写真・イラストは、日本館がミラノ万博公社 (Expo 2015 S.p.A.) 等の許諾を得て使用しています。